

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年12月06日

計画の名称	藤崎町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	藤崎町												
計画の目標	雨水浸水地区の防災対策として、浸水対策事業を行うことにより、安全・安心で快適な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	493	A	493	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R2	R3	R4	
1	下水道による浸水対策達成率を8.3%（R2当初）から9.2%（R4末）に増加させる。 浸水対策達成率を算出する。 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	8%	8%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤崎町	直接	藤崎町	管渠(雨水)	新設	三千石堰二号幹線	雨水渠 U2500×2000 L=0.5km	藤崎町						434	-	
	A07-002	下水道	一般	藤崎町	直接	藤崎町	管渠(雨水)	新設	三千石堰第二排水区枝線	雨水渠 U600×400ほか L=0.3km	藤崎町						56	-	
	A07-003	下水道	一般	藤崎町	直接	藤崎町	管渠(雨水)	-	調査・設計等	委託費	藤崎町						3	-	
	種別2:全種																		
												小計						493	
	合計																		

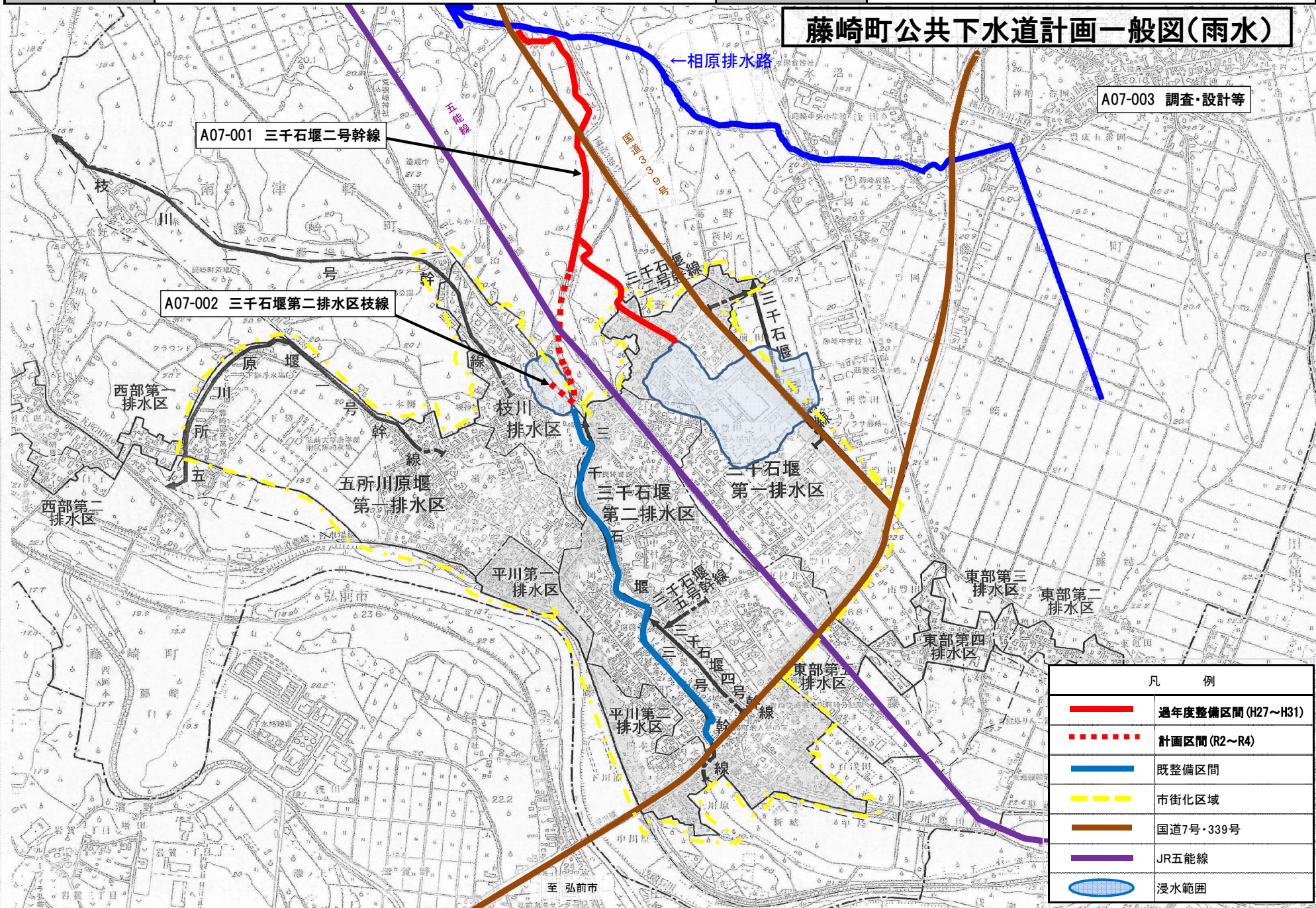
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	100	74			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	100	74			
前年度からの繰越額 (d)	0	6			
支払済額 (e)	94	80			
翌年度繰越額 (f)	6	0			
うち未契約繰越額(g)	6	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	藤崎町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）		
計画の期間	令和2年度～令和4年度	交付対象	藤崎町

藤崎町公共下水道計画一般図(雨水)



凡 例	
	過年度整備区間 (H27~H31)
	計画区間 (R2~R4)
	既整備区間
	市街化区域
	国道7号・339号
	JR五能線
	浸水範囲

事前評価チェックシート

計画の名称： 藤崎町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合性 1) 下水道事業計画協議及び都市計画法事業認可を平成29年3月に受けており、認可計画面積（雨水）211haのうち、令和元年度末で約17.5haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり、上位計画との整合性は取れている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性） 1) 地域住民の生活環境の改善に向けた浸水対策を目的とした整備計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、浸水区域の被害解消に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 事業内容は、浸水被害の解消を図ることが目標であり、計画目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 雨水渠工事による浸水対策事業であり、施工後浸水被害防止を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性） 1) 地域の要望を把握したうえで事業計画したものであり、住民の理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 毎年のように発生する豪雨災害に対する住民の関心は高く、浸水対策事業を実施することで防災・安全対策の実現が図られるとともに、地域住民の防災意識の高揚にも寄与するものである。	○